

第5期科学技術基本計画の全体俯瞰イメージ（素案）

目指すべき 国の姿

- ①「知」の資産を創出し続け、科学技術により大変革時代に対応できる基盤的な力を育む国
- ②国際競争力があり、将来に渡って持続的な成長と社会の発展を実現できる国
- ③安全・安心かつ豊かで質の高い生活を実感できる国
- ④大規模な自然災害や気候変動など地球規模の問題解決に先導的に取り組み、世界の発展に貢献する国

運用、慣習等を含む制度的な面での見直しを含めて全体最適を実現し、世界で最もイノベーションに適した国へ

<重点ポイント>

○未来の産業創造・社会変革に向けた取組

- ・デジタルソサエティ化の進展など科学技術イノベーションを巡る大変革時代の中で、新たなパラダイム・シフトに対応するためのものづくりの革新とシステム統合
- ・未知への挑戦による非連続なイノベーションの創出

○直面する経済社会的な課題への対応

- ・科学技術イノベーションの活用による経済・社会的課題の解決に向けた対応

○基盤的な力の育成・強化

- ・基礎体力（人材、基礎研究力）の強化
- ・イノベーションシステムの構築・駆動

<個々の政策の単発的实施に陥らず全体最適を実現できるよう、政策手段をシステムとして有機的に連携・実施>

○イノベーションシステムの構築

- ・人材の育成・流動化、・基礎研究力の強化、・研究開発基盤、・大学改革、研究開発法人改革、・研究資金改革、・産学連携、
- ・オープンイノベーションの促進、・橋渡し機能強化、・中小・中堅・ベンチャー、・知的財産・標準化、・国際展開、・規制制度改革 等

○国が推進する研究開発

- ・未来の産業創造・社会変革に向けた研究開発、
- ・経済・社会的課題の解決に向けた研究開発、
- ・基礎研究

○科学技術と社会

- ・国民とのコミュニケーションの深化、
- ・研究の公正性 等